

学校経営アカデミー

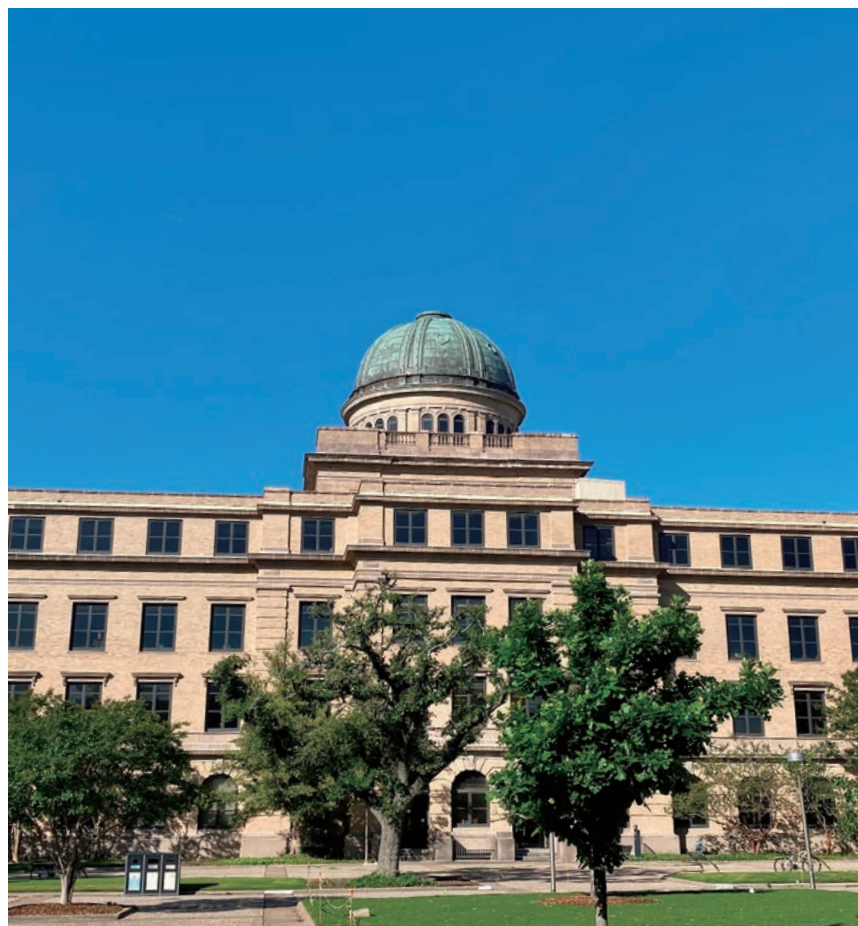
2025.7月号

第78号

〔特別連載〕 高等教育政策を解説する
大学事務職員の未来

〔特集〕
**大学教職員の資質向上の取組（SD）
実施状況について（文部科学省調査）**

一般社団法人 学校経営アカデミー



表紙画像 テキサス A & M 大学（アメリカ）
1876 年創立のテキサス州の公立研究大学。創立時は農工大学として始まり、現在は
16 の学部・大学院を有する総合大学。学生数も全米最大級の規模を誇る。
Times Higher Education による「World University Rankings 2025」では総合 143 位。

学校経営アカデミー配布先 約 8,000 部

大学	約 1,700 部	理事長・学長・入試・広報 等
短期大学	約 250 部	理事長・学長・入試・広報 等
専門学校	約 1,300 部	理事長・校長・広報 等
高校	約 4,600 部	学校長・教頭・進路指導部長 等
学習塾	約 50 部	代表取締役社長・会長・塾長 等
各協会団体	約 100 部	会長・副会長・理事・事務局長 等

一般社団法人 学校経営アカデミー 代表理事 米田英一
株式会社 JS コーポレーション 代表取締役 米田英一

特別連載

02 高等教育政策を解説する

大学事務職員の未来

学校経営アカデミー首席研究員／大学マネジメント研究会 会長 本間政雄

[特集] 教育クローズアップ

08 大学教職員の資質向上の取組(SD) 実施状況について（文部科学省調査）

14 次世代科学技術チャレンジプログラム 2025年度採択機関一覧

18 女子中高生の理系進路選択支援プログラム 2025年度採択機関

22 国際学生科学技術フェア2025 文部科学大臣表彰等受賞者

26 マーケティングデータ 2025年度開設の大学の学部等（届出）

28 大学の充実の施設を紹介 北翔大学／中央学院大学

30 専門学校の充実の施設を紹介 東北歯科専門学校／広島情報専門学校

高等教育政策を解説する

大学事務職員の未来

学校経営アカデミー首席研究員

大学マネジメント研究会 会長

本間 政雄

はじめに

我が国の高等教育機関は、大学、短期大学、高等専門学校、専修学校専門課程（専門学校）の4種類であり、防衛省、国土交通省、厚生労働省などが設置する防衛大学校、海上保安大学校などの大学校も広義の高等教育機関です。

これら高等教育機関の設置者も、国、地方公共団体、学校法人、株式会社¹のほか、専門学校の場合は、さらに準学校法人²、財団法人、社団法人、その他の法人、個人など多様です。こうした設置者の違いにより、一口に「事務職員」と言っても、その地位は、国家公務員、地方公務員、国立大学法人・公立大学法人職員、学校法人職員、民間企業社員など多様であり、公務員法、労働関係法などの法的地位をはじめ、人事制度、給与水準、職員のマインドセットなど大きな違いがあります。

一方、こうした違いを超えて、高等教育機関の事務職員として共通していることがあります。それは、教育機関として、有為の人材を育成し、社会に送り出すという目的を達成するために所属組織の効率的、効果的な運営を実現するということです。言うまでもなく、大学、短大、高専には、人材養成に加えて、研究、社会貢献という役割があり、これらの活動の支援も事務職員の役割です。

ちなみに、学校教育法は、「大学には学長、教授、准教授、助教、助手及び**事務職員**を置かなければならない。」（第92条）と規定し、これを受けて大学設置基準は、事務職員の役割について、次のように規定しています。「第7条 大学は、その教育研究上の目的を達成するた

め、その規模並びに授与する学位の種類及び分野に応じ、**必要な教員及び事務職員等からなる教育研究実施組織を編制する**ものとする。

2 大学は、教育研究実施組織を編制するに当たつては、当該大学の教育研究活動等の運営が組織的かつ効果的に行われるよう、**教員及び事務職員等相互の適切な役割分担の下での協働や組織的な連携体制を確保しつつ**、教育研究に係る責任の所在を明確にするものとする。

3 大学は、学生に対し、課外活動、修学、進路選択及び心身の健康に関する指導及び援助等の厚生補導を組織的に行うため、**専属の教員又は事務職員等を置く組織を編制する**ものとする。

4 **大学は、教育研究実施組織及び前項の組織の円滑かつ効果的な業務の遂行のための支援、大学運営に係る企画立案、当該大学以外の者との連携、人事、総務、財務、広報、情報システム並びに施設及び設備の整備その他の大学運営に必要な業務を行うため、専属の教員又は事務職員等を置く組織を編制するものとする。**」

これらの規定から明らかなことは、1) 事務職員は、大学にとって、学長、教授など教員と並んで必ず置かなければならない重要な職種であること、2) 大学の使命である教育研究を効果的に行うには、教員と事務職員が、役割分担しつつも、協働、連携すべきこと、3) 大学運営に必要な企画立案などの業務を行うのは教員だけでなく事務職員も対象であること、この3点です。

1 大学事務職員の現在地

文部科学省の最新の学校基本調査によれば、**大学813校で働く事務職員**の数は、**2024年度現在98,829人、過去10年間で約1.4万人、伸び率にして16.62%増加**し

ています。これは、学生数(+3.30%)、教員数(+6.44%)の伸び率を大きく上回っています。とりわけ、国立大学は、学生数、教員数が減少しているにもかかわらず、約5,800人増えています³。

その理由として、2004年の国立大学の法人化、非公務員化により、それまで機械的に続いてきた毎年1%の事務職員定員削減から自由になり⁴、自らの判断で事務組織、事務職員の数を決められるようになったこと、法人化後導入された中長期計画策定と事後評価、役員会や学外者が参画する経営協議会など新たな会議体が設置されたこと、さらに、運営費交付金の削減に伴って競争的研究資金や寄付金獲得に人員を投入する必要があったことなどが考えられます。また、これは、国立大学に限りませんが、認証評価制度の導入への対応や情報公開、ガバナンス改革など政府の政策への対応も事務職員の仕事の増加要因となっています。さらに、18歳人口の減少に伴う学生獲得競争の激化、グローバル化の要請、社会貢献・連携など大学に期待される役割が質量ともに拡大、高度化したことも理由として考えられます。

大学事務職員一人当たりの教員数は、1.9～2.3人と国公立大学でほとんど差がありませんが、事務職員一人当たりの学生数は、私立大学36.4人、国立大学18.7人と大きな開きがあります。国立大学は、理工農系分野、保健分野（医学、薬学、歯学、看護学）が、

大学学部入学者の約5割を占めているのに対し、私立大学では、この比率は23.2%に留まっています。また、大学院生全体の57.5%が国立大学の大学院に在籍していたのに対し、私立大学の大学院生は35.9%に留まっていました⁵。理工農系や保健分野は、実験実習が多く、また少人数教育が主流で、それだけ教員の数も多く、学生、教員に対応する事務職員の数も多くなると考えられます。さらに、国立大学の教員は、科学研究費などの競争的研究資金の獲得額も多く、国内外の研究活動、例えば学会出席、国際会議開催なども活発ですし、民間企業との共同研究、スタート・アップ企業の支援などの業務もあります。

2 大学事務職員の業務とは

それでは、大学の事務職員は、日々どんな仕事をしているのでしょうか。国立大学協会によれば、「アカデミック・プロデューサー求む」として、国立大学事務職員採用統一試験受験の案内をHPに掲載しています。それによれば、事務職員の役割について、「教育・研究支援業務以外に、地域連携・産学連携・知的財産などの社会連携関係業務、国際交流・留学生支援業務、総務・財務等の大学の運営・管理業務など、多種多様な業務に携わります。また、教員等と連携・協力し、大学全体の経営や教育研究推進にかかる戦略の企画立

表1 設置者別大学数、学生数、教員数、事務職員数の推移（2014→2024年度）

	私立大学	国立大学	公立大学
学校数	603 → 624 校	86 → 86 校	92 → 103 校
学生数	2,094,978 人 2,177,756 人 (+3.95%)	612,509 人 603,967 人 (-1.4%)	148,042 人 168,072 人 (+13.53%)
教員数	103,614 人 113,854 人 (+9.88%)	64,252 人 63,823 人 (-0.67%)	13,013 人 14,854 人 (+14.15%)
事務職員数	53,492 人 59,864 人 (+11.9%)	26,592 人 32,379 人 (+21.76%)	4,661 人 6,586 人 (+41.30%)
事務職員一人当たり人数 (2024 年度)	学生 36.4 人 教員 1.9 人	学生 18.7 人 教員 2.0 人	学生 25.5 人 教員 2.3 人
合計	学生 2,855,529 人→ 2,949,795 人 (+3.30%) 教員 180,879 人→ 192,531 人 (+6.44%) 事務職員 84,745 人→ 98,829 人 (+16.62%)		

（出典：文部科学省「学校基本調査」から筆者作成。）（注：学生数・教員数・事務職員数の各欄とも上段2014年度、下段2024年度、（ ）内は増減率。）

3 一方、短期大学は、同期間に3,974人から2,969人へと約千人、約25%減少している。短大自体が352校から297校へと減少しているので事務職員が減るのもけだし当然である。

4 とは言っても、人件費を含む運営費交付金が毎年1%ずつ削減される期間が長く続いた。 5 令和5・6年度学校基本調査。

案において積極的な役割を果たすことも期待されています。」と説明し、表2のような業務を挙げています。

表2の業務は、国立大学の事務職員のものとして挙げられていますが、業務量の差こそあれ私立大学、公立大学にも共通するものです。

表2 大学事務職員の業務

担当分野	役割
総務・企画・人事 組織全体を円滑に運営し、すべての職員を支えるための幅広い業務を行う。	総務・企画 事務の総括、連絡調整 各種会議、諸行事等の開催 規則、規程等の制定改廃 外部評価、自己点検評価 情報公開、広報活動 文書類の接受、発送 将来構想等の企画立案 業務改善推進 人事 採用、昇任等の人事管理 給与、手当の決定 研修の企画、実施 勤務時間等の管理 表彰、栄典 退職手当の決定、年金の請求 職員の福利厚生、労災関係
財務・会計 組織運営に必要な財務上の計画や管理を行う。	財務 予算立案、要求、配分、管理 決算、財務諸表作成 会計諸規程に関すること 会計に関する監査、統計調査等 資金管理 資金管理、運用 債権管理 入学科、授業料等の収入業務 給与、出張旅費等の支給及び税金の徴収 購入物品等の代金支払い 寄附金、補助金等の受入経理 共済組合の短期給付 資産管理 土地建物等の資産の取得、管理 教職員宿舎の管理 学内の防災、警備 契約 物品購入、機器保守等の契約 備品等の管理

担当分野	役割
学生支援 学生の入学から卒業までの学業・生活面をサポート。	教務 入退学、卒業等の学籍情報管理 カリキュラムの編成 履修手続き、修学指導 試験実施、成績管理 教育実習、教育職員免許手続き 授業評価や教育方法等の改善、充実 学生支援 学生の生活指導、相談 課外活動・支援 奨学金申請、入学科、授業料免除手続き 就職指導、相談、インターンシップ 入試 学生募集・入試広報 大学入学共通テスト、個別学力試験実施
研究協力 研究の助成、産官学連携の推進を支援。	研究推進・産学連携の企画、立案 科学研究費補助金等の競争的資金の申請 民間共同研究・受託研究等の外部資金受入 内地研究員等受入 知的財産の管理、活用 公開講座等の企画、実施 安全保障輸出管理
国際交流 海外との学術交流や留学生交流の推進を支援。	国際交流の企画・立案 海外大学、研究機関等との学術交流 外国人研究者受入 教職員の海外派遣 外国人留学生の受入、修学・生活支援 学生の海外留学派遣
医療支援 高度先進医療を担う大学病院で、医療現場がスムーズに業務を行えるようにサポート。	外来患者受付 入院患者入退院手続き 診療費計算、徴収 社会保険等への診療報酬の請求 各種診療関係証明書発行 病歴情報等の管理保管、情報公開 医療相談、医療訴訟 医療安全、医療事故対策 地域医療支援業務 公費負担医療関係 医療に関する情報収集 病院管理会計システムの管理、運用 医療情報システムの管理、運用 医療に関する各種統計調査

担当分野	役割
図書 図書貸出からネットワークを利用した情報提供まで、利用者の要求に応え、様々なサービスを提供。	図書等の選定、発注、受入 図書等の目録作成、分類、製本 図書等の貸出、返却、配架、保管 図書館の広報（展示、利用案内等） 学術文献の検索 他機関との図書等の相互利用業務 電子図書館の構想、構築、運用 電子ジャーナル等の刊行情報の調査・利用 資料の電子化 学術情報の収集、調査 各種データベースサービスの利用 図書館に関する各種統計調査
社会貢献・連携	社会貢献・連携施策の企画・立案 他の高等教育機関、関係自治体、企業、諸団体、NPO 等との連絡・連携

（出典：国立大学協会HP「国立大学法人等への就職：業務紹介」。注：イタリッ
クはルーティン業務。赤字は、今後事務職員が注力すべき業務。いずれも加工
は筆者。「社会貢献・連携」は、筆者が加筆。）

3 これからの事務職員の姿

大学が行わなければならない重要な業務は、大学を取り巻く環境の変化、社会・経済の高度化に伴って、日々量的に拡大するだけでなく、質的にも高度な知識・技能・創意が求められるようになっていきます。事務職員の増加は固定費の増加につながり、財政を圧迫するので、簡単に増やすことはできません。

事務職員は、とかく眼の前の業務を正確に、規則通り執行することに努力が行きがちですが、業務そのものの見直しを図らないといくら残業しても、いくら人を増やしても限界があります。とすれば、事務職員は、業務を見直し、**1) 必要性のなくなった、あるいは薄くなった業務の廃止・縮小を行う、2) 引き続き業務を行う場合でも、業務手順の簡略化や必要書類の削減を行う、3) 必要な業務であっても、外部委託する方が効率的・効果的な業務は外部委託する、4) 定型的な業務は、機械化（DX化）あるいはAIに処理させる**などする必要があります。

実際、一定の規模を持つ私立大学の中には、大学の

業務を請け負う事業会社を設立している例があります。例えば、関西大学は、2012年に「**関大パンセ**」という会社を設立し、学生サポート（旅行、共済・各種保険、PC販売、自販機管理、国際サポート）、教職員サポート（複合機、プリンター、印刷センター管理、各種保険、施設貸出、記念グッズ制作、物品購入システム、研究支援、PCリユース）、大学環境サポート（清掃、警備）、管理部門（経理、人事、総務事務）などを行っており、従業員数は70名、事業規模は15億7,500万円に達しています。

関西大学の例は、ある意味で典型的な定型業務の外部委託ですが、早稲田大学は、大学の用地取得・売買、学生寮の建設・運営管理、学生住宅の仲介、キャンパス清掃管理、警備、施設運営・管理などの業務を行う「(株)早稲田大学プロパティマネジメント（従業員40名）」の他に、国際交流や教務、研究支援、人材育成など、他大学では、事務職員が担っている業務をも、「**(株)早稲田大学アカデミックソリューション**」という会社が行っていることが注目されます。この会社は、従業員362名、まさに大学の第二事務局の観があります。

早稲田大学にも教務部や国際交流部という事務組織があるのに、なぜこうした会社が必要なのでしょう。同社は、**従来の事務局では、1) 煩雑な既存の事務業務に忙殺されてやるべき展開・活動にたどり着けない、2) 「異動」があり毎年/数年毎に担当者が交替し経験・ノウハウが再スタート状態になる、3) 基本的な業務ノウハウ（派遣・受入手続き、イベント・説明会・オリエンテーション等の運営、外部企業との連携、業務効率化・自動化への取組み等）が不足している**、といった理由を挙げています。

早稲田の例は、事務職員の今後目指すべき姿を示唆しています。それは、ルーティン業務は、**いずれDX、AIの導入により、機械化、自動化されるか、外部委託されることはほぼ確実であり、いくらルーティン業務に習熟しても、それだけでは生き残ることは難しい、これからの事務職員は、どんな分野でも、現状を分析し、課題を抽出し、課題解決のための施策の企画、立案を行い、そうして考えた施策を関係者に説明し、理解から共感、ひいては協力を得て実現する力をもつこ**

表3 （株）早稲田大学アカデミックソリューションの業務分野・内容・導入事例

業務分野	業務内容	導入事例
グローバル化 （国際交流支援）	留学事務、留学生などの宿舍手配、海外研修プログラム、外国人留学生キャリア支援	学習院大学国際社会科学部
語学教育	学生・院生・教職員向け英語教育、英語学術論文の校正	愛知県立芸術大学：留学書類の書き方講座 関西大学：アカデミック英語講座 東京農業大学：大学院生のための理系英語講座 大学職員のための英語スピーキング集中講座
人材育成	SD、企業団体向け組織活性化支援、医療メディエーター養成	
研究推進	研究費獲得・執行管理支援、シンポジウム、学会セミナーの企画運営、プロジェクトマネジメント支援	山形大学工学部 総合大学 A 大学（URA 支援）
その他教育全般	学務事務（学籍管理、科目登録、成績管理、授業支援、教員人事）、著作権処理、IT 推進	

（出典：早稲田大学HPから、筆者作成。）

とが求められるということです。

こういう状況の下で、事務職員が果たさなくてはならない、事務職員にしかできない業務について考えます。

それは、大学の進むべき方向性、在り方、あるべき姿（=ビジョン）を明確にし、ビジョン実現に向けた戦略と具体的な行動計画⁶を策定することです。こうしたビジョン構築は、最終的には、学長や理事長の仕事・責任ですが、現実を踏まえた実効性・実行性のあるものにするためには、大学の現状と課題に対する分析があり、特に私立大学に関しては学生確保をめぐって競合する大学との比較分析・環境条件分析（SWOT）を行うことが前提となります。そうした分析をもとに、ビジョンの選択肢を提示し、ビジョンが明確になればそれを実現する戦略と行動計画を立案するのは事務職員の役割です。

国公立大学は、国や地方自治体の財政支援のおかげで低廉な授業料を維持することができるので、学生確保に大きな課題はありませんが、他方で教育研究はもとよりグローバル化や地域貢献、産学連携などの面で高い期待が寄せられており、限られた資源の選択と集中を行い、そうした期待に応える努力が欠かせません。

ところが、「選択と集中」は口で言うほど簡単なことではありません。自らの大学が、急速に変化しつつある経済・社会・技術環境の中で、わが国の中で、そして立地する地域で果たすべき役割は何かを明確にし

（ミッションの再定義）、そこに資源（人、資金、知的資産）を集中的に投資するほかに道はありません。

大学では、学長、副学長など教学の責任者には、特定の研究分野の教員が就きます。「選択と集中」は、必然的に特定分野の教育・研究プログラムの縮小、廃止を伴いますが、基本的に「どの研究分野も同じように重要」という価値観に立つ研究者出身の学長等は、結局「選択と集中」を避けて、「広く、薄く」という判断になりがちです。

その点、事務職員は、特定の研究バックグラウンドがないので、状況分析を行って、その結果に基づく客観的で公正な選択肢を提示できるという強みがあります。まさに、国立大学協会が事務職員に求める「アカデミック・プロデューサー」の意義と役割がこの点にあります。

4 事務職員として成長するために

国大協が求める「アカデミック・プロデューサー」としての事務職員、あるいは筆者の考えるような「企画・立案型」の事務職員として成長するためには何が必要でしょうか。

第一に、自分が担当する業務について、「あるべき姿」を描くこと、そして実際の「現実」との乖離を埋めるための施策を考え、実行することです。

例えば、人事課研修係の職員であれば、教員、職員を対象にした様々な研修プログラムを担当していると思いますが、「去年と同じ研修プログラムを今年も実施する。変わるのは、招聘する講師だけ」というのではなくて、これまでの研修プログラムの目的と実施後の効果についてきちんと検証することです。仮に、目的が企画立案型人材の育成であれば、研修プログラムの形式・内容・期間・講師は適当かの検証を行う必要があります。そのために、受講者のアンケートや先進他大学の訪問調査を行うことも考えられます。そうすると、一方通行の講義を聞くだけの研修から、ワークショップ型、討論形式の研修形式に変更するという改善提案が生まれます。

第二に、「アカデミック・プロデューサー」として成長するためには、「アカデミック」を担う教員、大学の最大の顧客である学生とのコミュニケーションを密にすること、彼らが、どんな課題や悩みを抱えているかを知ることです。

事務職員の中には、業務分担や役割上やむを得ない側面もありますが、20年、30年と職員を続けながら、一度も教員と教育、研究について話をしたことがない、学生ときちんと話したことがないという人が一定数はいるものと拝察します。教育者、研究者としての教員や学生を理解することなくして「プロデューサー」になることはできません。

教員に対する理解と共感、敬意に基づく柔軟な対応も求められる場面としては、例えば海外出張報告ですが、学部長の押印手続や書類提出締切日等の規則遵守を求めることは、もちろん正当な事務対応です。ただ本人はそれと意識しなくても、結果的に教員の負担増といった結果を招くこともあります。手続き、書類、締め切りは必要ですが、教員の仕事に理解があれば、教員の仕事をやりやすくするために手続きの簡略化や規則の変更を考えるでしょうし、「融通」を利かせるようになります。手続きは適正、規則は守られたが、研究は上手いかなかったということにならないようにすることが必要です。

第三に、大学という狭い世界に閉じこもらず、広い世界に出て視野を広げることです。様々な機会を捉え

て、民間企業、金融機関、地方自治体、NPO法人や団体、会計士、弁護士、社会保険労務士といった専門職、芸術家、ジャーナリスト、起業家など、仕事を通じて様々な世界で働く人々と知り合う機会はいくらでもあります。事務職員に限らず、人はとかく自分と同じ世界の人たちとの付き合いで満足するきらいがありますが、それでは異なる発想、考え方に触れることはできず、新たなアイデアが生まれにくくなります。仕事も前例踏襲になりがちですし、新しいことを考えようにも手がかりが得られません。異業種、異世界、異時代の人とは、本を通じて出会うこともできます。幸い、大学には、必ず図書館があり、最新刊も古典もそろっています。

最後に、常に、法人全体、大学全体の立場から物事を見る習慣を身に付けることです。言い換えれば、理事長、学長の視点に立って、法人、大学の課題を考えることです。そうすることで、所属部署の狭い枠に捉われず、発想が柔軟になります。学内での難しい調整、業務上の困難や課題等に行き当たった際にも、消極的な考えではなく、大所高所から物事の是非が判断できるようになり、改善策が生まれるようになります。

大学を取り巻く環境の厳しさが増す今日、事務職員の皆さんの活躍に大いに期待したいものです。

本間 政雄 プロフィール



1948年生まれ。1971年名古屋大学法学部卒業後、旧文部省入省。74～76年London School of Economics大学院留学、MSc取得。OECD、在仏大使館勤務を経て、99年文部省総務審議官。2001年京都大学事務局長（04年理事・副学長）、05年大学評価・学位授与機構教授、07年立命館副総長、10年アジア太平洋大学副学長、2013～21年梅光学院理事長、13～14年関東学院常務理事。

6 ここで言うビジョン、戦略、計画は、あくまで実行を前提にした、厳しい現状分析に伴うもの。

大学教職員の資質向上の取組(SD)実施状況について(文部科学省調査)(1)

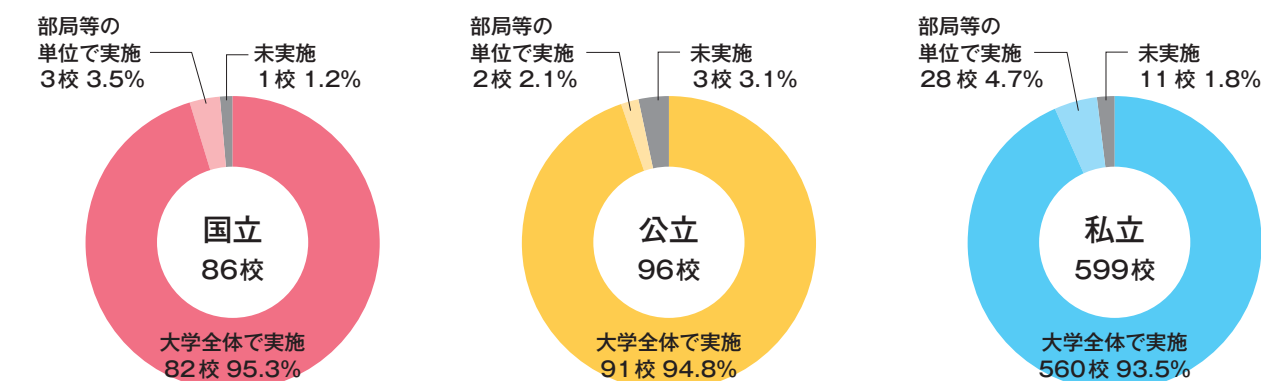
文部科学省では、「大学における教育内容等の改革状況」について調査を行い、結果を公表しています。本記事では、最新公表分の2022年度調査結果より「スタッフ・ディベロップメント(SD)」実施状況に関する内容をご紹介します。

スタッフ・ディベロップメント(SD)：
管理運営や教育・研究支援までを含めた、教職員の資質向上のための組織的な取組

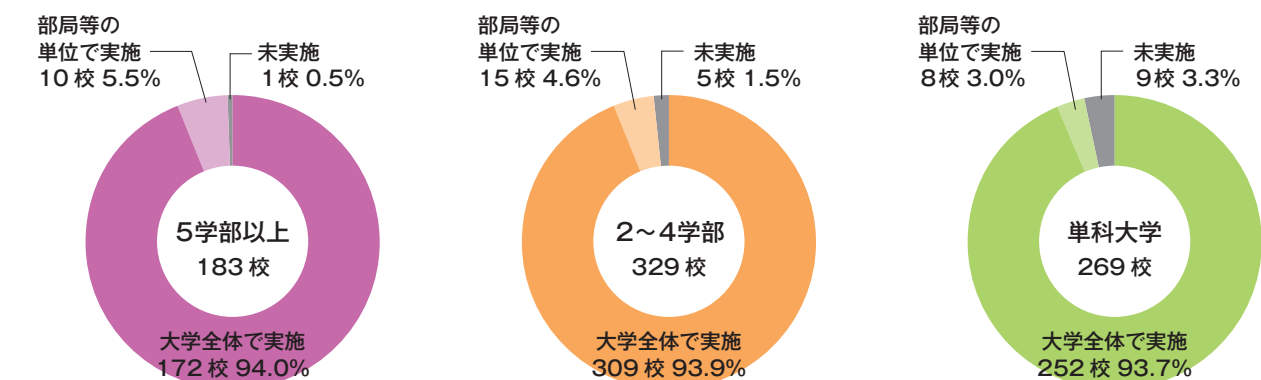
1. SDの実施状況

・国公立、規模を問わず、ほとんどの大学で「大学全体」もしくは「部局等の単位」で実施されているようです。

国公立別



大学規模別

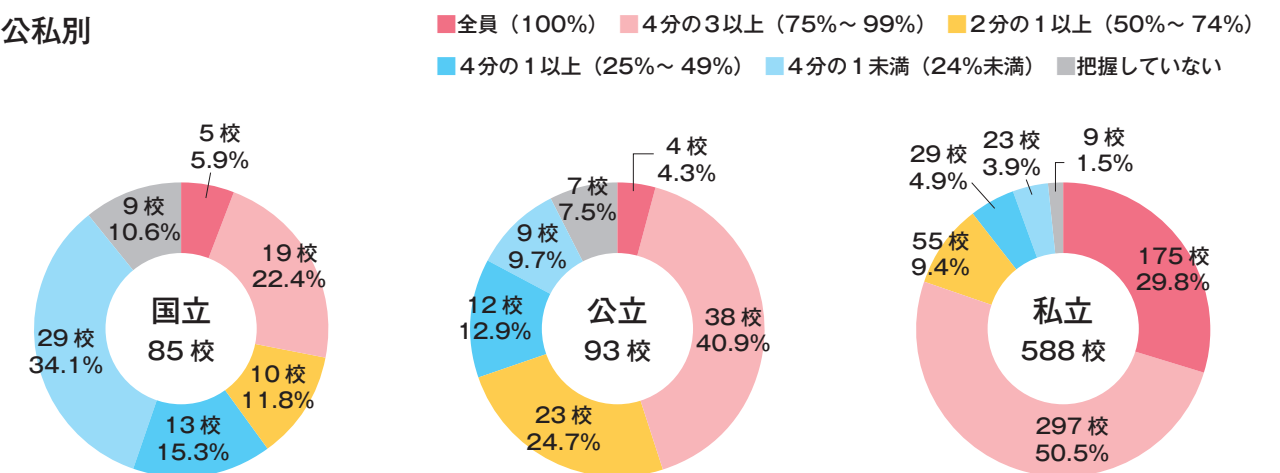


2. SDの参加状況

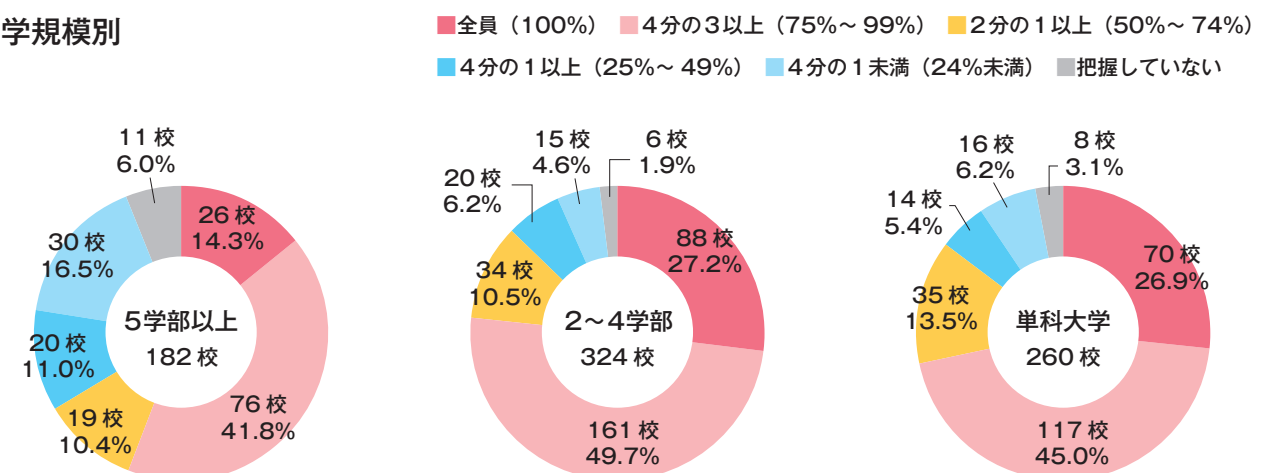
・私立大学のSDは、「全員」参加が29.8%、「4分の3以上」参加が50.5%と、国公立に比べて高い参加率となっています。
・「5学部以上」の大学よりも、「2~4学部」「単科大学」のほうが参加率が高くなっています。

※ここでは、事務職員、技術職員、教員、部局長、執行部等、全ての所属教職員を母数としている。
※「大学全体で実施」「部局等の単位で実施」と回答した大学について集計（以降同様）。

国公立別



大学規模別



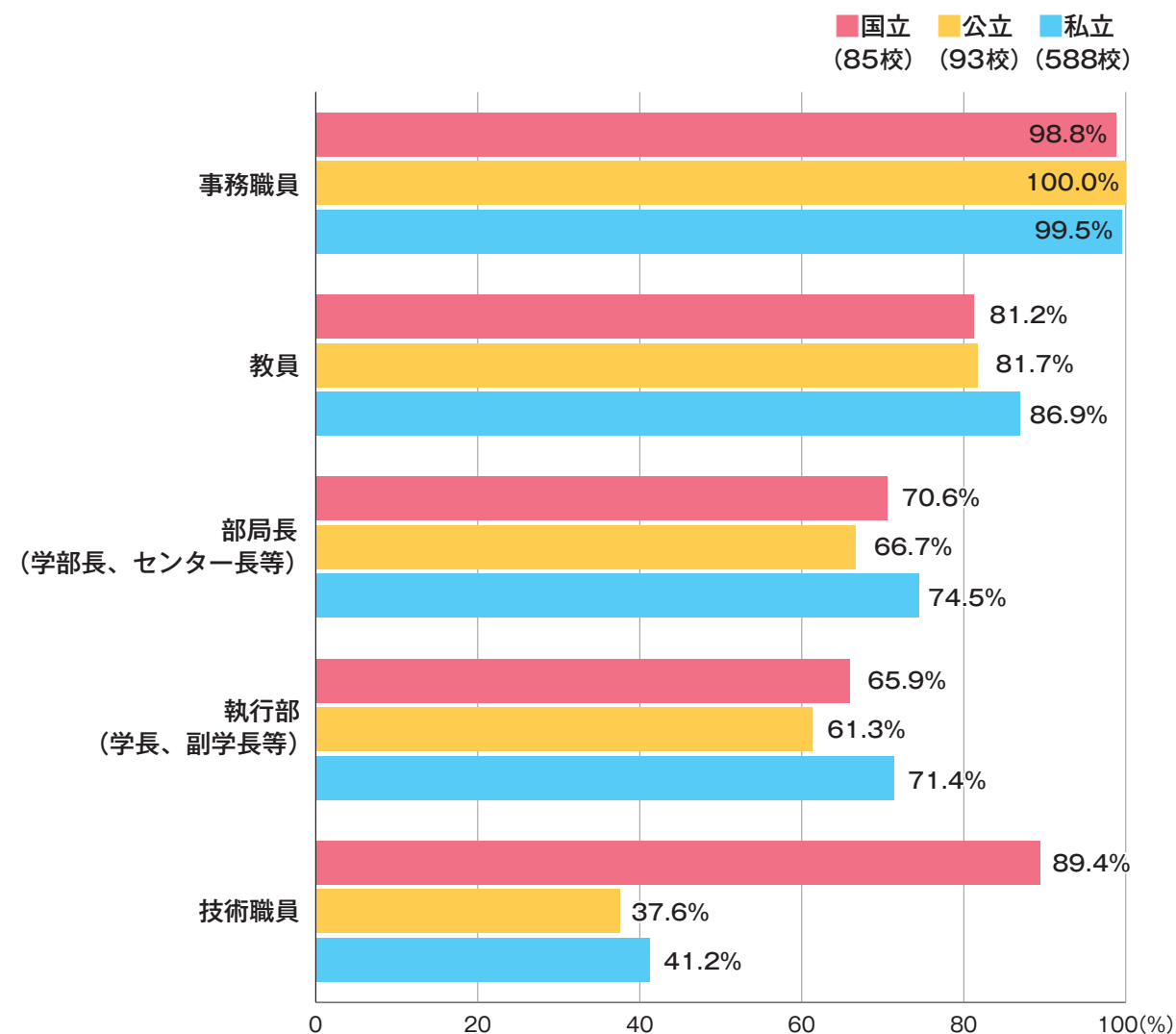
出典：文部科学省HP「大学における教育内容等の改革状況について(令和4年度)」より作成

大学教職員の資質向上の取組(SD) 実施状況について(文部科学省調査)(2)

3. SDの対象者(複数選択)

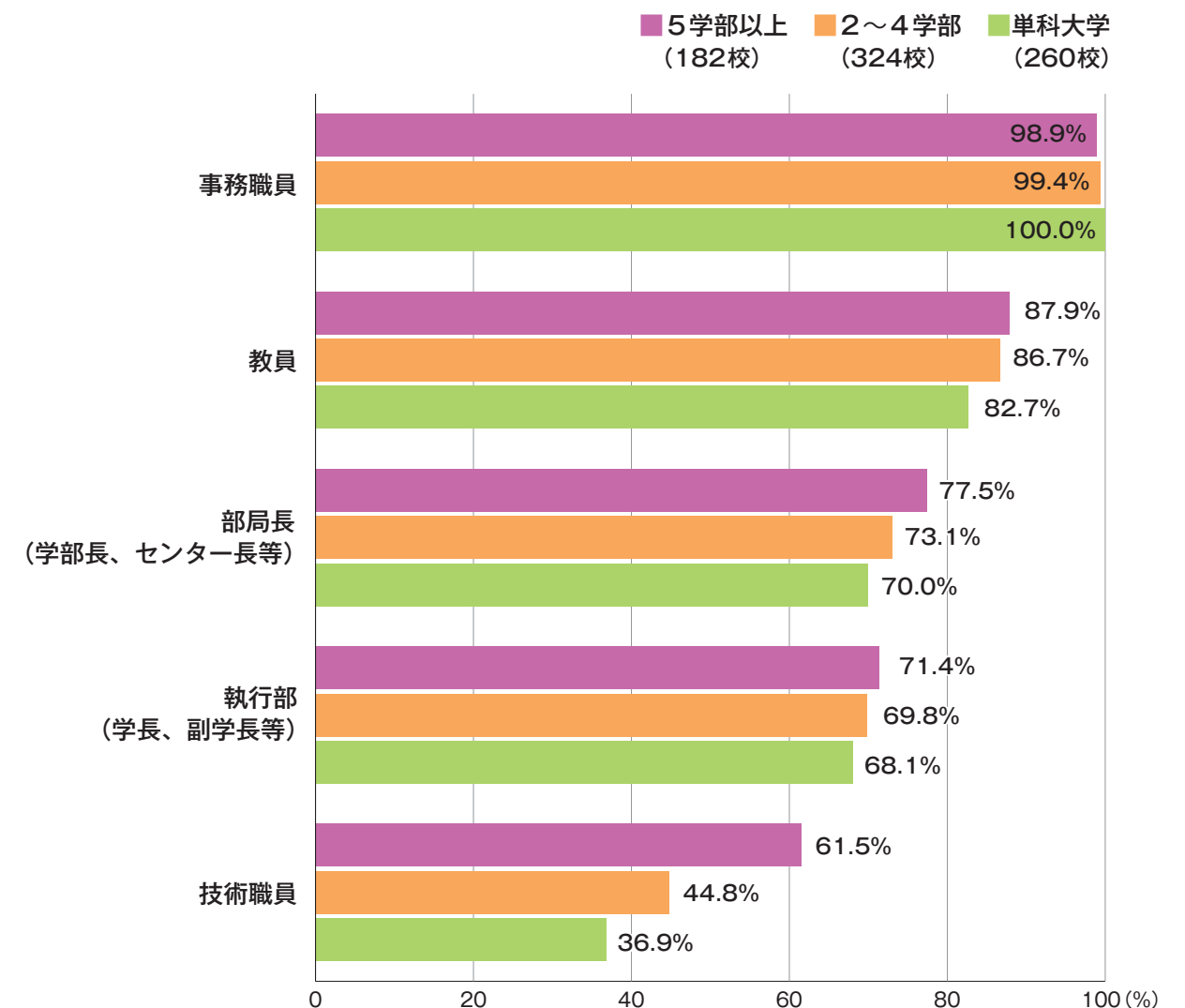
国公私別

- ・「事務職員」だけでなく、「教員」も対象とする大学が多いことが分かります。
- ・国立大学の多くが「技術職員」も対象としています。



大学規模別

- ・「技術職員」対象は「5学部以上」の大学で比較的多くなっています。
- ・「単科大学」の100%が、「事務職員」を対象としています。



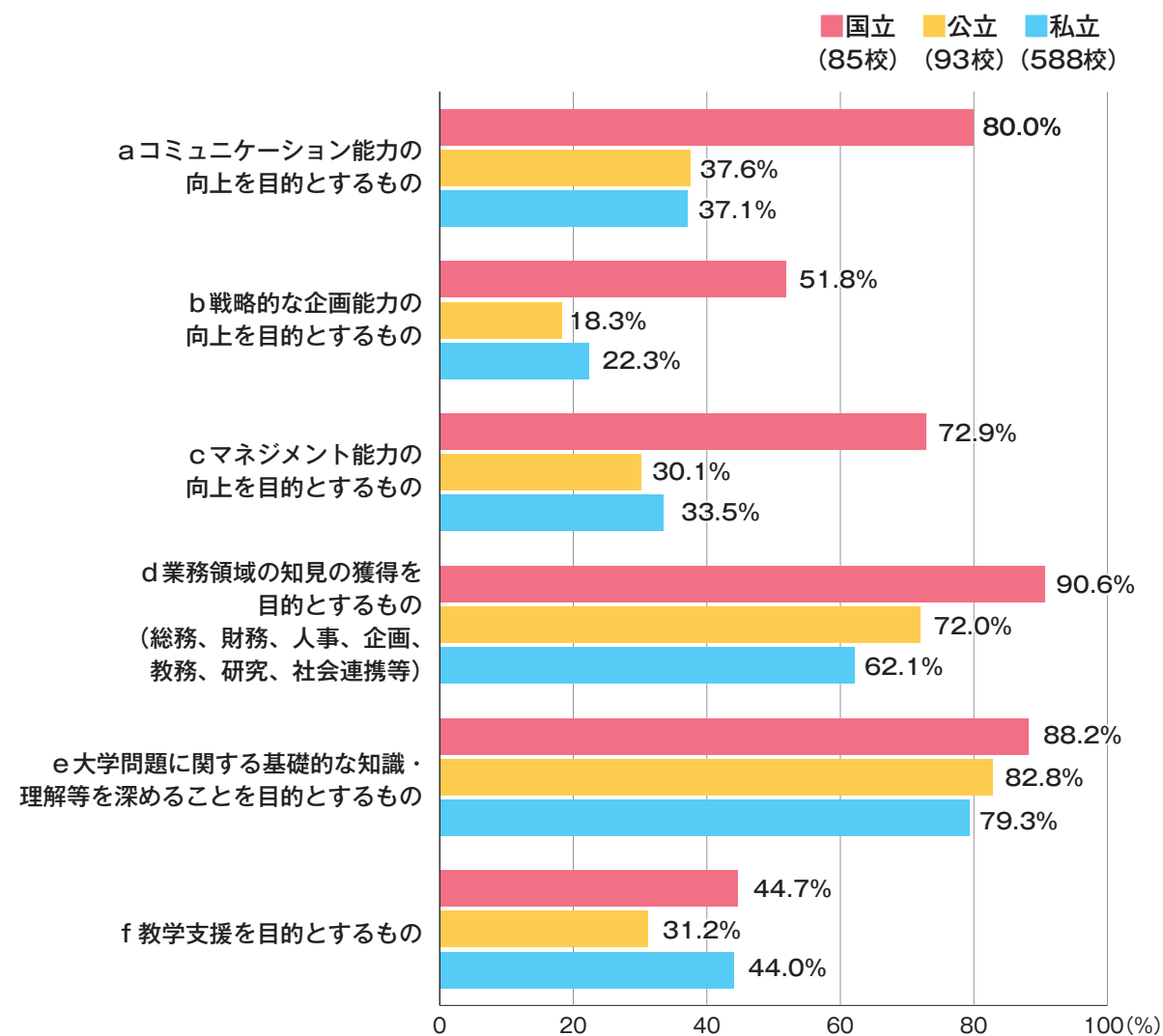
出典：文部科学省HP「大学における教育内容等の改革状況について(令和4年度)」より作成

大学教職員の資質向上の取組(SD) 実施状況について(文部科学省調査)(3)

4. SDの具体的内容(複数選択)

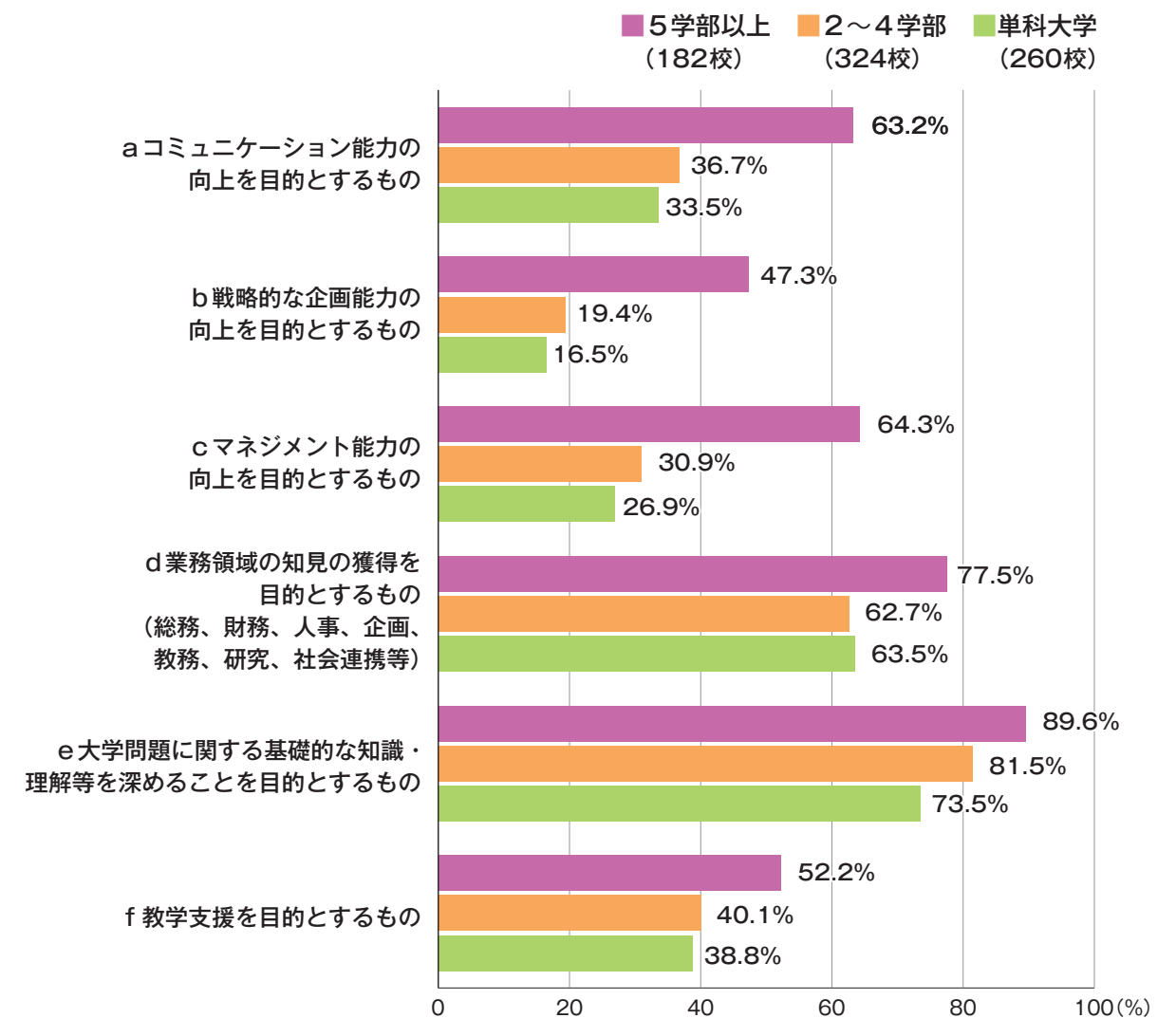
国公私別

・「コミュニケーション能力の向上」「戦略的な企画能力の向上」「マネジメント能力の向上」を目的とする活動は国立大学で多く、国立と公私立では実施状況に大きな差があることがわかります。



大学規模別

・国公私別の状況と同様の傾向で、「コミュニケーション能力の向上」「戦略的な企画能力の向上」「マネジメント能力の向上」は、「5学部以上」の大学と「2～4学部」「単科大学」では実施状況に大きな差があることがわかります。



出典：文部科学省HP「大学における教育内容等の改革状況について(令和4年度)」より作成

＜高等教育機関様へ＞ 理数系志望の小中高生に訴求する、特色あるプログラムづくりのヒントとなれば幸いです。

＜高等学校様へ＞ 理数系志望生徒様への本格的な探究活動のご案内にご活用ください。

次世代科学技術チャレンジプログラム 2025年度採択機関一覧(1)

● 理数系に優れた意欲・能力を持つ小中高生を発掘・育成

本事業では、科学技術イノベーションを牽引する次世代の傑出した人材を育成するため、小学校高学年～高校生段階において理数系に優れた意欲・能力を持つ児童生徒を対象に、その能力等の更なる伸長を図る大学等の多様な育成プログラムの開発・実施を国立研究開発法人科学技術振興機構（以降JST）が支援します。

これまで、理数系分野で優れた意欲・能力を持つ児童生徒を対象に、その能力等を更に伸長させることを

目的として「グローバルサイエンスキャンパス」（高校生等が対象・2014年度開始）、および「ジュニアドクター育成塾」（小中学生が対象・2017年度開始）が実施されてきました。

2023年度より、これらの事業を発展的に統合し、新たに「次世代科学技術チャレンジプログラム」が開始されています。本記事では、2025年度に採択となった機関・プログラム概要をご紹介します。

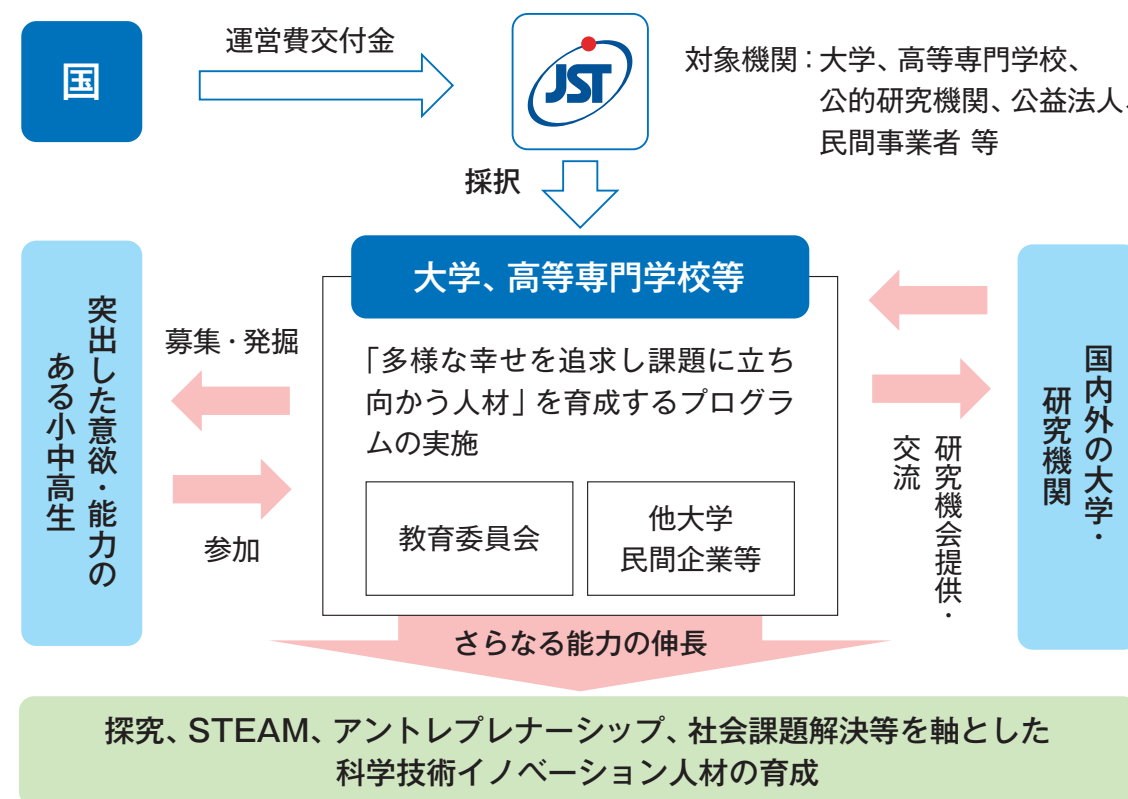
●（参考）企画募集の概要

（募集対象）
国公立大学（大学院大学を含む）、高等専門学校、公的研究機関、科学館、博物館、公益法人、NPO法人、民間事業者（法人格を有することが必要）及びこれらの施設・法人の共同による実施
（支援対象となる育成プログラム）
探究活動、STEAM教育、アントレプレナーシップ教育、国際性の付与などの高度で実践的な取り組みをはじめとした、実施機関や地域などの特徴を生かした多様で挑戦的な取り組み

児童生徒の学年段階により小中型、高校型、小中大型の3つの申請タイプが募集され、計19件（小中型5件、高校型8件、小中大型6件）の応募がありました。外部有識者で構成される委員会での審査結果をもとに、2025年5月、計3件（小中型、高校型、小中大型各1件ずつ）の採択機関が決定されました。各機関ごとのイベントの詳細や最新情報は、JSTおよび各機関のHPでご確認ください。

※本年度分の企画募集は終了しています

● 事業の概要図



実施形態、支援金額等

応募型	【小中型】	【高校型】	【小中大型】
企画の対象（育成対象）	小5～中3	高1～高3	小5～高3
支援金額上限（／年・機関）	1,000万円	3,000万円	4,000万円
支援期間	最長5年間	最長5年間	最長5年間
2025年度採択機関と企画名	学校法人同志社	埼玉大学	神戸大学 (共同機関：兵庫県立大学、関西学院大学、甲南大学、神戸薬科大学)
	同志社ジュニア・クリエイティブ科学アカデミー～創造の丘から世界へ～	ハイグレード理工系（高校生）グローバル人材育成プログラム	科学技術みらい開拓人材育成プログラム

出典：国立研究開発法人科学技術振興機構HP「次世代科学技術チャレンジプログラム」より

次世代科学技術チャレンジプログラム 2025年度採択機関一覧 (2)

● 2025年度 採択機関・企画一覧

機関名	企画名と企画概要
学校法人同志社	同志社ジュニア・クリエイティブ科学アカデミー ～創造の丘から世界へ～【小中型】 「独創的な科学技術を生み出すだけでなく、豊かな国際社会の実現に向けて挑戦する個儻不羈(てきとうぶき：才気に優れ、独立心旺盛、常識にとらわれない)なる人物」の育成を目的とする。 第1段階では、企業と協働して世の中のさまざまな科学と文化のつながりを知り、第2段階では自ら選んだ分野で「失敗や間違いを恐れずに」大学や企業で研究を行う。学生サポートスタッフや他の受講者、企業研究者との交流を通して「科学の世界のコミュニケーション」も経験し、将来、自立してグローバルに活躍できる「尖った研究者」のタマゴを養成する。 本プログラムは同志社一貫教育探求センターを主管とし、同志社大学 京田辺キャンパス (Creative Hill) を拠点として、関西文化学術研究都市推進機構、京都・けいはんなにあるグローバル企業、法人内外の小中学校、海外大学と連携してプログラムを実施し、成果を広く社会に発信・共有することで、伝統と革新に基づく新たな科学教育を切り開く。
埼玉大学	ハイレード理工系（高校生）グローバル人材育成プログラム High-grade Global Education Program in Science, with Society, Technology, Arts, and Research (HiGEPS-STAR)【高校型】 理工系分野に強い好奇心と学習意欲を持つ高校生を発掘し、独創的発想力、国際的視野、高い情報発信力を持つ人材へと育てることを目的とする。 1年目にベーシックコースとして40名の受講生を選抜のうえ受け入れ、毎月1回の講義・実習、留学生とのワークショップ、研究立案研修などを実施し、レポート作成や討論会、発表会を通し情報発信力を育てる。このとき、芸術的手段を取り入れて創造性と感性を養い、国内外外研修で社会の実勢を見て、AIへの対応や起業家精神や国際性を学ぶ機会を提供する。2年目にアドバンストコースとして10名を選抜し、本学教員を指導者とし課題研究を行う。さらに、海外短期研修の機会を通じて研究者の国際的多様性や科学のグローバル性の視点を養う。留学生との討論や研究発表の機会も設け、能力に応じて英語での口頭発表や論文作成の過程も修得する。
神戸大学 (共同機関：兵庫県立大学、関西学院大学、甲南大学、神戸薬科大学)	科学技術みらい開拓人材育成プログラム:Nurturing Future Innovators in Hyogo【小中高型】 豊かな自然と先端的研究機関や企業が集積する兵庫県の環境を生かし、将来、科学技術で革新を生み、人類社会のみらいを開拓してゆける人材の育成を目指す。 育成プログラムは小中学生対象のJunior Stage (JS) と、高校生等対象のSenior Stage (SS) から成り、JSでは創造性、論理的思考力、表現力、SSでは課題設定力、科学的探究力、国際性を含むコミュニケーション力、また両者を通じてアントレプレナーシップなどを育む。 プログラム前半は講義、実習、フィールドワーク、研究機関の見学・訪問などを行い、後半では、大学教員の助言などを受けながら、受講生が自ら設定した課題の探究 (JS) ・研究 (SS) に取り組む。

● 過年度採択機関一覧 (2023～2024年度)

カテゴリー	実施機関名	企画名	採択年度
小中型	津山工業高等専門学校	歴史的文化資源とグローバル教育資源を活用した次世代人材育成プログラム「つやまSTEAM人材育成塾」	2023
小中型	鳴門教育大学	徳島県高等教育機関連携型 次世代科学者発掘・養成講座 ～未来を切り拓く次世代の科学者をオール徳島で育てよう～	2023
小中型	三重大学	三重ジュニアドクタープログラムによる未来創造型人材の育成	2023
小中型	静岡大学	静岡STEAMフューチャースクール	2023
小中型	沖縄工業高等専門学校	Society ^{5.0} で「ちゅら海を科学する」若きダーウィン養成プロジェクト	2023
小中型	慶應義塾大学	KEIO WIZARD “GLOCAL” 身近な課題と世界の課題の繋がりを理解して解決策を創り行動できるジュニアドクターの育成	2023
高校型	奈良先端科学技術大学院大学	「共創」が育む主体性の未来 高院の連携実績と広範な学術・国際・地域ネットワークで挑む次世代型理数系人材の育成	2023
高校型	愛媛大学	四国型次世代科学技術チャレンジプログラム ～地域と世界の未来を創造するグローバルフロンティアリーダーの育成～	2023
高校型	国立情報学研究所	情報学のトップ才能からエリートへ才能の発掘、接続、達人の養成ー	2023
小中高型	東北大学	小中高大連携型「科学者の卵養成講座」	2023
小中高型	東京大学	未来を切り拓くグローバル科学技術人材の育成プログラム：UTokyoGSC-Next	2023
小中高型	金沢大学	小中高大院混成プログラムによる未来の課題を探究・克服する科学技術イノベーターの育成	2023
小中型	旭川工業高等専門学校	自然とデジタルが調和する北海道の逸材発掘プロジェクト 「北海道ジュニアドクター育成塾2.0」	2024
小中型	福井大学	ふくい先端領域で学ぶ人財協育プログラム ーふるさとの地域理解から探究力を育むー	2024
小中型	京都光華女子大学	思いやりの心による「開かれた未来社会」を作り出す次世代科学者育成プログラム	2024
小中型	熊本大学	くまもと未来ドクター塾 ～水の国くまもとの自然と産業の共生をめざす未来の科学技術人材育成～	2024
小中型	鹿児島大学	次世代科学技術人材育成プロジェクトかごしま未来創造Lab ー「本物(ホンモノ)」に触れ、「本物(リアル)」を創るー	2024
高校型	千葉大学	【ASCENT-6E】: Six Evolutions - Encourage, Enrich, Endeavor, Educate, Embody, Expand - of ASCENT program	2024
高校型	新潟大学	自然と人の共生に向け知の革新を創る基礎科学人材育成	2024
高校型	北九州市立大学	GEEKKイニシアチブ：次世代ギークのためのテクノロジー・イノベーション 高大連携教育	2024
小中高型	広島大学	持続可能な未来社会をけん引する次世代科学技術人材の育成 ～グローバルな視点で地方の発展に貢献する小中高一貫科学技術人材育成プログラムの構築～	2024
小中高型	琉球大学	津梁と創造の小中高一体型次世代科学技術イノベーター育成プログラム	2024

出典：国立研究開発法人科学技術振興機構HP「次世代科学技術チャレンジプログラム」より

女子中高生の理系進路選択支援プログラム 2025年度採択機関（1）

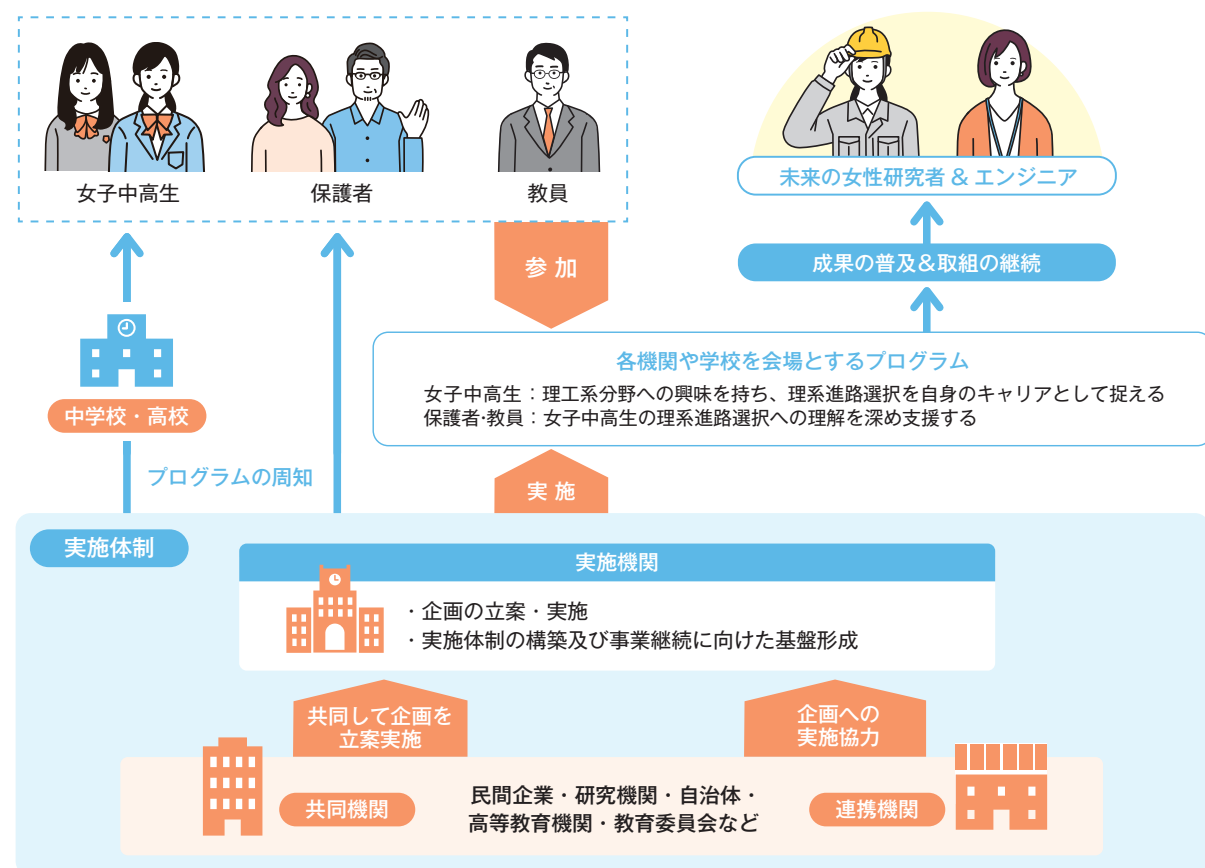
● 女子中高生の理系進路選択を支援し、理工系進学を後押し

「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」は、国立研究開発法人科学技術振興機構（以降JST）による、女子中高生向けの理系人材育成を支援するプログラムです。

理工系分野での女性の人材が少なく、女性の活躍が日本国内の課題となっています。JSTではこのプログラムで「全国各地に女子中高生の理系進路選択を支援

する拠点づくりを推進することによって、女子中高生が理工系分野の学びや体験を通して興味・関心を高めるとともに、ロールモデルとの交流などにより主体的に理系進路選択を考える機会を提供」しています。また、「保護者や教員が女子中高生の理系進路選択について理解を深め、これを後押しする環境の醸成」にも取り組んでいます。

● プログラムの概要



※JSTによる支援期間は最大3年間。支援金額は一件あたり上限600万円／年

出典：科学技術振興機構（JST）「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」リーフレットより作成

＜高等教育機関様へ＞ 理系女子中高生へのアプローチ強化や、多様性ある理工系人材育成の参考となれば幸いです。

＜高等学校様へ＞ 女子生徒様の理系進路実現にむけたキャリア教育・探究活動のご参考資料となれば幸いです。

● 本プログラムにおける主な取組

テーマ1：理工学系分野での多様な学びの機会を提供する（実験体験、ものづくり体験）

（実績例）滋賀県立大学：キャリアスキル体験 佐賀大学：専門講義・実験体験会

テーマ2：科学技術に関係する職業や幅広い進路を紹介する（研究機関・企業見学）

（実績例）高知工業高等専門学校：県内企業見学 お茶の水女子大学：火力発電所見学

テーマ3：多様な理工系分野のロールモデルを提示する（講演会・座談会、サイエンスカフェ）

（実績例）琉球大学：生徒向け懇談会 熊本大学：サイエンスカフェ

テーマ4：教員・保護者の理系進路選択への理解を促す（セミナー、座談会、相談会 など）

（実績例）埼玉大学：保護者と教員のためのセミナー

テーマ5：多様なコンテンツを作成し、発信する（デジタルコンテンツ、ロールモデル集、成果報告書）

（実績例）京都光華女子大学：保護者向け動画

出典：科学技術振興機構（JST）「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」リーフレットより作成

● 実施機関一覧

2025年度新規採択された4機関の企画概要は、次ページでご紹介いたします。

（2025年度採択）

室蘭工業大学

群馬工業高等専門学校

お茶の水女子大学

広島大学

（2024年度採択）

一関工業高等専門学校

北九州市立大学

神奈川工科大学

佐賀大学

山梨県立大学

熊本大学

奈良女子大学

女子中高生の理系進路選択支援プログラム 2025年度採択機関（2）

● 2025年度採択機関と企画概要一覧

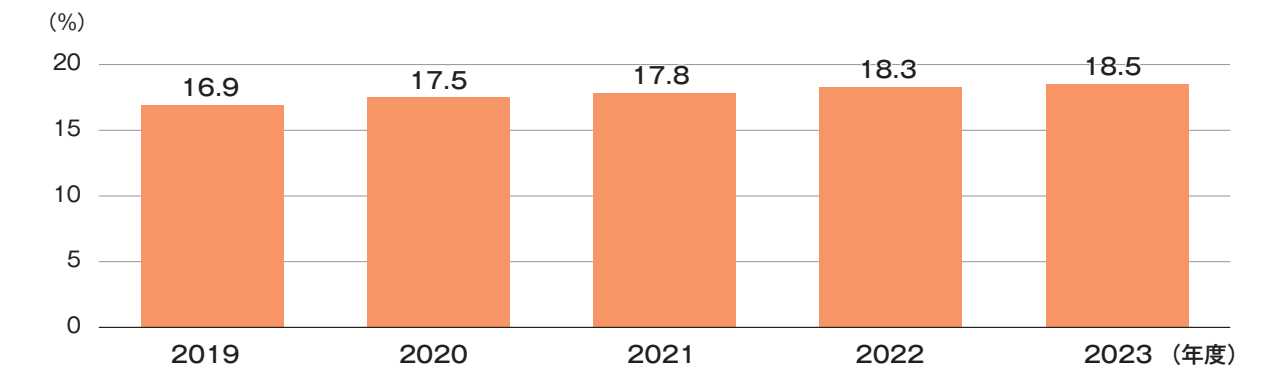
実施機関名	企画名と概要
室蘭工業大学	北海道のものづくり地域から楽しく広げる理工系選択 室蘭工業大学はロボットサッカーコンテストや、地域公開型施設のロボットアリーナ、サイエンススクールの実施など、少年少女を対象とした取り組みを多く手掛けてきた。また、胆振地方は室蘭市や苫小牧市を擁する北海道のものづくり地域でもある。これまでの大学の取り組みの経験と地域の特性を生かし、女子中高生に理工系選択で広がる未来を語り、その後の学びへの支援につなげられるような企画を目指す。女子中高生、大学生、教員、企業をつなげる仕組みとして、大学祭のような楽しいフェスの開催や、SNSなどのサイバー空間を活用した支援を想定する。自治体や中学校と連携した職業講話、学校訪問事業、PTA連合会や中学教員研修会への働きかけなどを展開し、全道へ広げる。
群馬工業高等専門学校	G-STEM ～ぐんま女子中高生理系進路選択への追い風プロジェクト～ 本企画は、これまで群馬高専が取り組んできたSTEM教育のノウハウを生かし、女子中高生が理系科目を学ぶことの楽しさを実感できるよう、群馬（Gunma）高専が実施機関となり、ぐんま（Gunma）女子（Girls）中高生の理系進路選択を後押しするような追い風を連携機関と共に巻き起こす企画である。具体的には、女子中高生の次のステップとしての理系の進路選択につながる学びを、体験型企画、企業見学会、講演会・座談会で展開する。学んだことについて、群馬高専や海外（タイ高専）の女子学生との報告会を開催し、その成果を生きた声として発信する。これらの交流を通して、理系進路選択や国際的な視野を認識してもらい、女子中高生が将来の自分と向き合う契機とする。また、保護者の女子理系進路選択の不安解消および理解を深めるため、保護者による保護者のための取り組みを行う。
お茶の水女子大学	理工系フロントランナー育成加速イニシアティブ 進路選択を意識していない「女子中学生」を主な対象に理工系女性シーズを発掘する。次のステップで、理工系進学へのモチベーションを育成し、理工系フロントランナーとしての未来を描く意識を醸成させ、理工系進学までつなげていく。幅広い理工系分野を対象として、株式会社JERA、日鉄ソリューションズ株式会社、BASFジャパン株式会社との連携により、特に情報・工学分野の取り組みの強化を図る。理工系フロントランナーに必要なソーシャルアントレプレナーシップを、女性社長.netを企画運営する株式会社コラボラボとの連携によって涵（かん）養する。保護者の理解を促進し、生徒と保護者に潜む無意識のバイアスを解消する工夫を取り組みの中に盛り込み、女子生徒の理工系進学を加速させる。

実施機関名	企画名と概要
広島大学	理系を目指す女子と次世代ファシリテータ育成のための広島大学フェニックスものづくりプログラム 日本において理系教科教員や女性指導者が少ないことが、女性の理系分野へのキャリア選択に対してネガティブな影響を与えている。そこで本企画では、大学院および学部的女子学生を中心に「学生メンター」を構成し、女子中高生に寄り添いながら理系分野の楽しさを伝える仕組みを中心に据え、セミナーや研究活動を実践する。理系教科の教員を目指す女子学部生・大学院生の姿をアイコンとして、参加者の一部が理系科目の教員への道を目指すようになれば、理系女子を育成する理系女性指導者の供給に好循環を形成できる。セミナーや研究活動には、間口が広く、個々人の興味や資質・能力に柔軟に対応可能な「グループ活動」をベースに、経験に裏打ちされた「知的な（データサイエンスを活用した）試行錯誤を伴うものづくり」を中心に、一連の企画を構成する。

出典：科学技術振興機構（JST）HP「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」より

●（参考データ）研究者に占める女性の割合推移

女性研究者の割合は、増加傾向にありますが、諸外国と比較すると低いです。



※諸外国の女性研究者の割合（2021年）
アメリカ 33.4% フランス 29.9% ドイツ 29.4%

（出典）総務省「2024年 科学技術研究調査 結果の概要」より

国際学生科学技術フェア2025 文部科学大臣表彰等受賞者（1）

● 世界各国から集まった高校生等が研究成果を発表

「リジェネロン国際学生科学技術フェア(Regeneron ISEF)」(ISEF=International Science and Engineering Fair)（以降ISEF）は、世界各国から参加した高校生等が、個人またはチームで研究成果を競い合う国際的な科学技術コンテストです。2025年現在、アメリカのバイオテクノロジー企業Regeneron（リジェネロン）が後援しています。

1950年よりアメリカで毎年開催されており、2025年大会は5月10日～16日に行われ、63の国・地域から1,657名が参加し、自分たちの研究をポスター形式で披露し合いま

した。事前審査・対面審査の結果、研究分野別22部門ごとの「優秀賞」（1～4等：上位約25％に授与）が選出され、日本代表として参加した25名(17研究)のうち2研究2名に授与されました(3等1研究1名、4等1研究1名)。

文部科学省では、今大会に日本代表として参加し部門優秀賞を獲得した生徒等へ文部科学大臣表彰を、ならびに健闘した生徒等へ文部科学大臣特別賞を授与します。本記事では、文部科学大臣表彰等を授与される日本代表の皆さんの研究発表テーマ一覧をご紹介します。

● 「リジェネロン国際学生科学技術フェア（Regeneron ISEF）2025」について

＜開催場所・期間＞

アメリカ・オハイオ州コロンバス／
2025年5月10日(土)～16日(金)

＜参加国数／人数＞

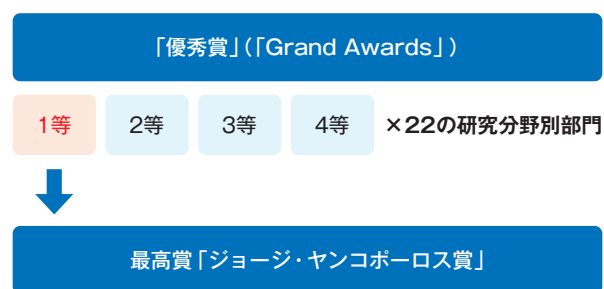
63の国・地域／1,657名
※日本代表は、17研究25名の高校生等が参加

＜審査について＞

ウェブ上のプロジェクトボードに研究の成果をまとめたプレゼン資料、動画、写真などの資料をアップロードし、審査員は事前にプロジェクトボード上の資料を確認します。その後、現地で対面審査を実施します。審査は研究の課題設定、計画と手法、実施、創造性、プレゼンテーションを評価対象として行われます。

＜各賞の選出について＞

研究分野別に設定された22の部門別に「1等」～「4等」までの「優秀賞」が選出されます(上位約25％に授与 各等それぞれ複数の研究が受賞可能)。



22の各部門「1等」受賞者の中より、全体トップに選ばれた研究に最高賞を授与
賞金100,000ドル(約1,500万円)

＜高等教育機関様へ＞ 高校生の探究活動の実践分野・テーマの動向把握に向けたご参考となれば幸いです。

＜高等学校様へ＞ 生徒様の探究・研究活動の優れたモデルケースを知る資料となれば幸いです。

● 文部科学大臣表彰を受ける生徒等

特に優秀な成績をおさめた以下の生徒等に対し、文部科学大臣表彰が授与されます。

＜環境工学部門 優秀賞3等＞

西田 優美奈(にしだ ゆみな)さん

東京大学1年(横浜市立南高等学校(神奈川県)出身)

テーマ

「糸状藻類(アオミドロ/サヤミドロ)を用いたバイオ燃料及び土壌改良材の実用化に向けた基礎研究」

研究概要

化石燃料の代替として注目される微細藻類由来のバイオ燃料は、コストの高さが課題でした。西田さんは、他生物による汚染に強く日光と水だけでも培養可能なアオミドロを中心とした糸状藻類に着目し、低コスト生産のための培養・実験を行いました。その結果、これまで注目されてこなかった糸状藻類を活用することで、より低コストなバイオ燃料製造が可能であり、さらに燃料抽出後の残渣は、植物栄養素を含む優れた肥料として活用できることを実証しました。

＜物理学・天文学部門 優秀賞4等＞

田中 喜大(たなか よしひろ)さん

東京大学1年(筑波大学附属駒場高等学校(東京都)出身)

テーマ

「膜の破れによって生じ得る ウォーターベルの変形」

研究概要

スプーンを洗うと周りに見られる滑らかな水膜、「ウォーターベル」と呼ばれる不思議な形は、条件によりどう変形するのか未解明でした。田中さんはこの現象に着目し、空気の出入について「開いた」ベルと「閉じた」ベル各々を定量的に解析しました。ベルの形状を数値的に再現して理論モデルを立て、シミュレーションの実験結果との合致から妥当性が示されました。さらに、ベルの変形の要因が体積の内圧によることも解明されました。本研究は、科学の根幹であるモデル化により原理を明かし、ベルの制御にも貢献しています。

※「部門」はISEFの参加部門。

※「文部科学大臣表彰」は、研究分野別に設定された22の部門ごとに選出される1等から4等までの優秀賞を受賞した生徒等が対象。

※ 所属・学年は本大会終了時点、テーマは国内大会でのテーマを記載。

※「研究概要」は、NPO法人日本サイエンスサービスのプレスリリースより転載。

国際学生科学技術フェア2025

文部科学大臣表彰等受賞者（2）

● 文部科学大臣特別賞を受ける生徒等

日本代表として参加し、健闘した生徒等に対し、文部科学大臣特別賞が授与されます。

大久保 亜美(おおくぼ あみ)さん 東京歯科大学1年(山脇学園高等学校(東京都)出身)

テーマ 「日本のイモリ属(Cynops)の繁殖生態はどのように獲得されたか？」(部門：動物科学)

木村 遥(きむら はるか)さん 新居浜工業高等専門学校(愛媛県)4年

テーマ 「磁性光触媒粒子による水質浄化システムの開発」(部門：材料科学)

工藤 良史(くどう よしふみ)さん 浅野高等学校(神奈川県)3年

テーマ 「バイオチャー散布が森林生態系の炭素収支に与える影響と炭素隔離効果の長期的検証」(部門：地球・環境科学)

黒木 勇人(くろき ゆうと)さん 早稲田大学1年(早稲田大学高等学院(東京都)出身)

テーマ 「ドローン配送のエネルギー消費量および配送時間の削減：K-MeansクラスタリングとTSP(巡回セールスマン問題)の活用による『1回の配送で複数のパッケージを複数の目的地に届ける』方法の開発」(部門：ロボット工学・知能機械)

小野 克己(おの かつき)さん 慶應義塾大学1年(佼成学園高等学校(東京都)出身)

テーマ 「イシガイ目二枚貝の保全と生育条件・生態に関する研究 ～生活用水路で発見された個体群から考察する～」(部門：動物科学)

植野 菜々子(うえの ななこ)さん ノートルダム清心学園清心女子高等学校(岡山県)2年

テーマ 「イネ胚乳の生長についての研究 ～サリークイーンの特性について～」(部門：植物科学)

中武 源貴(なかたけ げんき)さん 宮崎県立宮崎西高等学校(宮崎県)3年

テーマ 「高千穂峡形成におけるフェーズ変化」(部門：地球・環境科学)

山崎 皓司(やまさき こうじ)さん 高知県立高知国際高等学校(高知県)3年

テーマ 「減衰振動の観察」(部門：物理学・天文学)

竹内 理紗(たけうち りさ)さん 同志社大学1年(鳥取県立鳥取西高等学校(鳥取県)出身)

テーマ 「意味デコーディングによる心像の脳解読」(部門：計算生物学・バイオインフォマティクス)

福田 莉子(ふくだ りこ)さん 神奈川県立川和高等学校(神奈川県)3年

テーマ 「ウマ介在活動がウマに与える影響」(部門：行動・社会科学)

畠山 乃愛(はたけやま のえ)さん 旭川工業高等専門学校(北海道)4年

柴田 怜奈(しばた れいな)さん 旭川工業高等専門学校(北海道)4年

テーマ 「自己修復性を有するアルミニウム防食用有機/無機ハイブリッド二重構造表面層の開発」(部門：材料科学)

竹下 香穂(たけした かほ)さん 静岡理科大学静岡北高等学校(静岡県)3年

古井 咲良(ふるい さくら)さん 静岡理科大学静岡北高等学校(静岡県)3年

佐藤 茉愛沙(さとう まあさ)さん 静岡理科大学静岡北高等学校(静岡県)2年

テーマ 「低温蓄熱とペルチェ素子を組み合わせた省エネクーラーの開発」(部門：エネルギー：持続可能な材料・設計)

平尾 瑞姫(ひらお みずき)さん 米子工業高等専門学校(鳥取県)3年

井上 真緒(いのうえ まお)さん 米子工業高等専門学校(鳥取県)3年

川田 愛(かわた あい)さん 米子工業高等専門学校(鳥取県)3年

テーマ 「中高温領域で動作する燃料電池の作製」(部門：エネルギー：持続可能な材料・設計)

浦口 愛彩(うらぐち まなさ)さん 玉川学園高等部(東京都)3年

辻 優里香(つじ ゆりか)さん 東京都市大学1年(玉川学園高等部(東京都)出身)

新倉 里咲(にいくら りさ)さん 玉川学園高等部(東京都)2年

テーマ 「人工眼球を用いたベンハムのコマの錯視現象の解明」(部門：生体医工学)

角田 あやめ(つのだ あやめ)さん 安田学園高等学校(東京都)3年

永田 悠仁(ながた はると)さん 安田学園高等学校(東京都)3年

テーマ 「クロマルハナバチにおける二倍体雄の存在とその役割」(部門：動物科学)

※「部門」はISEFの参加部門。

※所属・学年は本大会終了時点、テーマは国内大会でのテーマを記載。

出典：文部科学省HPの報道発表（2025年5月20日）より作成

<高等教育機関様へ> 新設状況の把握、競合分析、広報戦略差別化等に向けての参考となれば幸いです。

<高等学校様へ> 学部学科の最新トレンドをつかむ参考資料としてご活用いただけます。

調査データ

マーケティングデータ

2025年度開設の大学の学部等（届出）

2025年度新規開設学部等のうち、文部科学大臣への「届出」（学位の種類、分野の変更を伴わない開設、もしくは当該大学の収容定員総数の増加を伴わない開設）によるもの一覧をご紹介します。2025年度は33大学40学部、および短期大学3学科において設置届出がされました。

「工学」「情報」「デザイン」「教育」等関連分野において、複数大学での新設がみられます。（本情報は文部科学省HPで公表の2025年3月時点の情報をもとにしております。最新情報は各大学のHP等でご確認ください）

2025年度開設の大学の学部等（届出）

■ 大学の学部を設置（33大学40学部）

	大学名	学部名／学科名	入学定員（人）
私立	北海道科学大学	情報科学部／情報科学科	100
	東北工業大学	工学部／電気電子工学課程、情報通信工学課程、都市工学課程、環境応用化学課程	385
	東北福祉大学	共生まちづくり学部／共生まちづくり学科	120
	日本薬科大学	薬科学部／医療ビジネス薬科学科	120
	環太平洋大学	国際経済経営学部／国際経済経営学科	150
	敬愛大学	情報マネジメント学部／情報マネジメント学科	50
	千葉商科大学	総合政策学部／経済学科、政策情報学科	300
	亜細亜大学	社会学部／現代社会学科	145
	駒沢女子大学	空間デザイン学部／空間デザイン学科	70
	実践女子大学	共創文化学部／国際日本学科、人間関係学科、心理学科	200
	実践女子大学	環境デザイン学部／環境デザイン学科	81
	清泉女子大学	総合文化学部／総合文化学科	230
	清泉女子大学	地球市民学部／地球市民学科	100
	東京家政学院大学	生活共創学部／生活共創学科、こども教育学科	247
	日本女子大学	食科学部／食科学科、栄養学科	88
	田園調布学園大学	子ども教育学部／子ども教育学科	80
	フェリス学院大学	グローバル教養学部／国際社会学科、心理コミュニケーション学科、文化表現学科	545
	金沢工業大学	情報理工学部／情報工学科、知能情報システム学科、ロボティクス学科	320
		メディア情報学部／メディア情報学科、心理情報デザイン学科	200
		情報デザイン学部／経営情報学科、環境デザイン創成学科	100
	岐阜聖徳学園大学	人文学部／人文学科	150
	清泉大学	人文社会科学部／情報コミュニケーション学科、文化芸術学科	72
	愛知淑徳大学	教育学部／教育学科	140
		建築学部／建築学科	130
	日本福祉大学	工学部／工学科	100
	藍野大学	看護学部／看護学科	※ 117

	大学名	学部名／学科名	入学定員（人）
私立	大阪産業大学	情報デザイン学部／情報システム学科	※ 133
		建築・環境デザイン学部／建築・環境デザイン学科	※ 168
		システム工学部／システム工学科	※ 248
	大阪電気通信大学	健康情報学部／健康情報学科	※ 167
	関西大学	ビジネスデータサイエンス学部／ビジネスデータサイエンス学科	350
	関西国際大学	グローバル学部／グローバル学科	※ 145
	甲南女子大学	心理学部／心理学科	90
	神戸女学院大学	生命環境学部／生命環境学科	80
	神戸女子大学	教育学部／教育学科	130
	神戸常盤大学	看護学部／看護学科	85
	武庫川女子大学	環境共生学部／環境共生学科	120
	くらしき作陽大学	健康スポーツ教育学部／健康スポーツ教育学科	60
	就実大学	心理学部／心理学科	100
	人間環境大学	総合環境学部／フィールド自然学科、環境情報学科	100

※は3年次編入を含む

■ 短大の学科を設置（3大学3学科）

	大学名	学科名	入学定員（人）
私立	新渡戸文化短期大学	フードデザイン学科	80
	滋賀短期大学	デジタルライフビジネス学科	150
	藍野大学短期大学部	看護学科	190

＊ 届出による開設：当該大学が授与する学位の種類、分野の変更を伴わない開設、もしくは当該大学の収容定員総数の増加を伴わない開設は、あらかじめ文部科学大臣に届出が必要です。

発表時期：2025年3月
出典：「令和7年度開設予定の大学の学部等の設置届出について」（文部科学省ホームページ）より表にして作成

写真特集

大学の充実の施設を紹介

施設・環境



ランドマーク的存在の「カレッジホールPAL」

北翔大学

(私立大学／北海道江別市)

大規模教室から少人数で使用する教室、生涯スポーツ、教育・保育、芸術、心理の専門分野のスキルを磨く教室まで、個々の目標を実現するための施設・設備が充実している。



SPOOR：体育館、プール、体操競技専用ホールなどで健康づくり、運動指導を学ぶ



保育実技室：絵本の読み聞かせや沐浴などの実習で使用される

学校 Data

【北翔大学】
〒069-8511
北海道江別市文京台 23 番地

施設・環境



地上 8 階建ガラス張りの「中央学院100周年大学記念館（本館）」

中央学院大学

(私立大学／千葉県我孫子市)

緑豊かな環境のキャンパスには、模擬法廷教室をはじめとした実践的な学びの場が整い、学生会館などキャンパスライフを充実させる施設も完備されている。



2階と3階をイケアのプロデュースでリニューアルした学生会館「Via（ヴィア）」



東京地方裁判所をモデルにして作られた法廷教室

学校 Data

【中央学院大学】
〒270-1196
千葉県我孫子市久寺家 451

専門学校の実験施設を紹介



左上：歯科衛生士科 細沼校舎 右上：歯科衛生士科実習室 左下：歯科衛生士科実習室 右下：歯科技工士科実習室

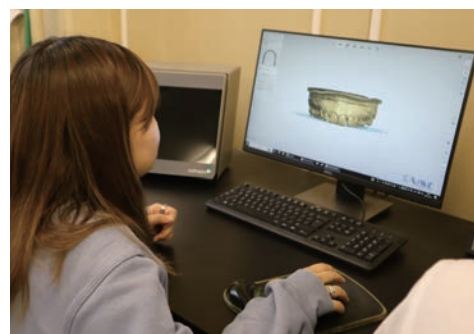
東北歯科専門学校

(専門学校／福島県郡山市)

日々進歩している歯科医療に対応するため、常に最新の設備を導入している。学生たちは充実した施設で幅広く学ぶことで、歯科医療のスペシャリストをめざすことができる。



歯科技工士科 片平校舎



歯科用CAD/CAMシステム

学校 Data

〔東北歯科専門学校〕
(細沼校舎)
〒963-8015
福島県郡山市細沼町 12 番 18 号

(片平校舎)
〒963-0211
福島県郡山市片平町字出磐森 1-7



左上：学生ホール 右上：授業器材 左下：パソコン実習室 右下：勉強する学生たち

広島情報専門学校

(専門学校／広島県広島市)

高スペックのAIサーバやゲーミングパソコン、サイバーセキュリティの実践環境等、450台以上の最新パソコンを設置して、ITスペシャリストを育成するために最先端の教育環境を整えている。



校舎のある広島産業文化センター



卒業研究発表会の様子 (広島産業文化センター2Fホール)

学校 Data

〔広島情報専門学校〕
〒732-0816
広島県広島市南区比治山本町 16-35

学校経営アカデミー

第 78 号

第 7 巻 第 6 号 通巻 78 号
発 行 2025 年 7 月
編 集 人 上村 達
編 集 今田 龍介
島崎 洵子／峯野 起彰／寺田 雅俊
ス タ ッ プ 奥野 史恵／福田 涼／南川菜津美／多和田昌子

発 行 所 一般社団法人 学校経営アカデミー
〒 530-0015 大阪市北区中崎西 2-4-12 梅田センタービル 17F
TEL.06(6373)8868
Printed in Japan 無断複製・転載を禁ず

一般社団法人 学校経営アカデミー 代表理事 米田英一
株式会社 J S コーポレーション 代表取締役 米田英一



日本の最大規模の学校情報サイト
日本の学校®
大学情報® 専門学校情報® 高校情報®

オープンキャンパス情報

比較サイト 奨学金サイト

アスリートからの熱いメッセージ

体験イベント in 大学

善きことをした高校生、中学生、小学生

私立中学・高校入試過去問題

<今年のトピックス>

— 募集戦略セミナー —

日本の学校
専門学校・大学・短期大学の教職員さま向けセミナー
事例研究
小規模専門学校の成功戦略
小規模単科大学の成長戦略
50年後の学校を目指して
募集成功する広報戦略 受講100名まで 参加無料
主催 (株)JSコーポレーション 後援 大学マネジメント研究会
7/17 (水) アルカディア市ヶ谷私学会館 15:00 開場
東京都千代田区九段北 梅田ビルからTEL: 06-7669-8881

— 募集戦略セミナー —

日本語学校生のための進学説明会
参加者にQUOカード®プレゼント!
※参加費無料 入場券有料 入場券1000円 当日受付
札幌会場 7/16 11:00~15:00 札幌エム・エス・ビル
仙台会場 7/24 15:30~18:00 ハーモニービル2階
東京・八王子会場 6/13 10:00~15:00 東京八王子駅前ビル
東京・新宿会場 7/10 10:00~15:00 三軒茶屋駅前ビル
名古屋会場 6/10 7/17 10:00~13:00 名古屋駅前ビル
広島会場 7/11 10:00~13:00 広島駅前ビル
神戸会場 6/12 10:00~13:00 神戸駅前ビル
大阪会場 7/9 10:00~13:00 大阪駅前ビル
※詳細は各会場にてご確認ください

— 高校の先生向けセミナー —

日本の学校
高校の先生向け ChatGPT 活用講座
受講100名まで 参加無料
5/30 梅田クリスタルホール 16:00 開場
大阪都心からTEL: 06-7669-8881
※詳細は各会場にてご確認ください

— 日本の通信制高校オープン —

日本の通信制高校
都道府県から通信制高校を探す
※詳細は各会場にてご確認ください

50年後の学校を目指して
株式会社 JSコーポレーション

本社 大阪市北区中崎西 2-4-12 梅田センタービル 17F

一般社団法人 学校経営アカデミー